



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社パワーソリューションズ 上場取引所 東
 コード番号 4450 URL <https://powersolutions.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 忠郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 加藤 康男 (TEL) 03(6878)0284
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | EBITDA※ | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|-------|------|---------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年12月期第1四半期 | 2,287 | 11.7 | 228 | △16.0 | 192 | △20.2 | 180 | △22.3 | 82 | △27.4 |
| 2025年12月期第1四半期 | 2,047 | 27.9 | 272 | 58.2 | 240 | 52.1 | 232 | 53.1 | 113 | 14.4 |

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 98百万円(△19.6%) 2025年12月期第1四半期 122百万円(21.9%)

※ EBITDAは、営業利益+償却費(減価償却費、のれん償却費等)として、算出しております。

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年12月期第1四半期 | 26.44 | 25.71 |
| 2025年12月期第1四半期 | 38.56 | 37.22 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年12月期第1四半期 | 6,602 | 3,893 | 55.2 |
| 2025年12月期 | 6,537 | 3,802 | 54.6 |

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 3,647百万円 2025年12月期 3,569百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期 | — | 12.50 | — | 12.50 | 25.00 |
| 2026年12月期 | — | — | — | — | — |
| 2026年12月期(予想) | — | 13.00 | — | 13.00 | 26.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | EBITDA | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|------|--------|-------|------|-------|------|-------|-----------------|----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 | |
| 通期 | 10,000 | 23.5 | 714 | △13.9 | 516 | △27.6 | 490 | △30.2 | 217 | △43.9 | 69.62 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2026年12月期1Q | 3,141,662株 | 2025年12月期 | 3,135,406株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年12月期1Q | 9,832株 | 2025年12月期 | 9,832株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2026年12月期1Q | 3,128,917株 | 2025年12月期1Q | 2,954,280株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結損益計算書関係) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自2026年1月1日至2026年3月31日）における我が国経済は、所得環境の改善、インバウンド需要の拡大などに後押しされ、緩やかな回復基調となりました。一方で、継続的な物価上昇、中東情勢の緊迫化など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。その中で政府は、家計金融資産を貯蓄から投資に回すためにNISAやiDeCoの拡充・改革を進めており、2027年1月からこどもNISAの創設を初めとした制度改正を予定しているなど、今後も当社がターゲットとする資産運用業界に更なる成長が期待されます。

当社が主に提供するDX推進・DXコンサルティングサービスの主要販売先である金融業界の資産運用（投信・投資顧問）セクターにおきましては、顧客の経営戦略に伴って、業務・事務負担が発生する度に必要な対応があり、業界全体として引き続き業務ソリューションの需要が高まっております。さらに、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）関連サービスの市場は依然として各種メディアでの注目度は高く、業務効率化、人件費削減、ヒューマンエラー防止、働き方改革の推進など、金融業界のみならず一層活用期待は高まっております。

このような環境のもと当社は、中期経営計画にて2025年から2027年の3か年を、飛躍に向けた変革期として位置付け、「つくる」から「つかう」へのシフトと最上流コンサル領域への進出期として捉えており、重点施策として、①既存顧客との取引拡大、②新規顧客獲得（顧客基盤の拡大）、③人員の増強と顧客単価の向上、④コンサルティング領域への進出、という4つを掲げ、事業の成長に取り組んでおります。

当社グループのサービス別の当期の事業状況は次の通りです。まず、売上高は、当社、当社の子会社である株式会社イノベティブ・ソリューションズ及び株式会社ウィズ・テックが提供するDX推進・DXコンサルティングサービスは、株式会社ウィズ・テックの業績が新たに連結したことに加え、既存の事業も安定的な需要に後押しされ、堅調に成長しております。次に、当社の子会社である株式会社OLDEが提供するRPA関連サービスは、旺盛な需要及びRPA人材へのリスクリングによる単価向上により、順調に成長しております。最後に、当社の子会社である株式会社エグゼクションおよび株式会社八興システムズが提供するインフラエンジニアリングは、株式会社八興システムズの業績が新たに連結したこともあり、順調な成長となりました。また、利益面は、事務所移転関連費用の計上により、計画していた通り減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,287,704千円（前年同期比11.7%増）、EBITDA228,736千円（前年同期比16.0%減）、営業利益192,189千円（前年同期比20.2%減）、経常利益180,862千円（前年同期比22.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益82,728千円（前年同期比27.4%減）となりました。

また、当社グループは、ビジネス・テクノロジー・ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ44,125千円増加し、4,503,116千円となりました。これは主として、前渡金が87,267千円減少した一方で、売掛金及び契約資産が106,805千円増加ことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ21,149千円増加し、2,099,761千円となりました。これは主として、投資その他の資産その他に含まれる保険積立金が79,387千円減少、長期前払費用が56,254千円減少した一方で、有形固定資産が155,264千円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ35,988千円増加し、2,230,939千円となりました。これは主として、流動負債その他に含まれる前受金が103,552千円減少した一方で、賞与引当金が152,703千円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ62,319千円減少し、477,987千円となりました。これは主として、長期借入金が44,765千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ91,606千円増加し、3,893,950千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が57,600千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年2月13日の「2025年12月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,056,363 | 2,012,160 |
| 売掛金及び契約資産 | 1,524,562 | 1,631,368 |
| 棚卸資産 | 26,421 | 23,504 |
| 前渡金 | 595,459 | 508,192 |
| その他 | 265,281 | 337,483 |
| 貸倒引当金 | △9,099 | △9,593 |
| 流動資産合計 | 4,458,990 | 4,503,116 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 62,149 | 217,414 |
| 無形固定資産 | | |
| 技術関連資産 | 104,526 | 97,060 |
| のれん | 239,427 | 220,397 |
| その他 | 48,431 | 44,102 |
| 無形固定資産合計 | 392,386 | 361,560 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 458,023 | 447,766 |
| 長期前払費用 | 418,864 | 362,610 |
| 敷金及び保証金 | 409,350 | 401,948 |
| 繰延税金資産 | 235,682 | 283,794 |
| その他 | 102,154 | 24,667 |
| 投資その他の資産合計 | 1,624,075 | 1,520,786 |
| 固定資産合計 | 2,078,611 | 2,099,761 |
| 資産合計 | 6,537,602 | 6,602,877 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 299,091 | 294,634 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 10,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 230,780 | 170,796 |
| 未払法人税等 | 194,777 | 196,487 |
| 賞与引当金 | 179,741 | 332,445 |
| 役員賞与引当金 | 62,223 | 59,000 |
| 受注損失引当金 | 395 | — |
| その他 | 1,217,941 | 1,167,575 |
| 流動負債合計 | 2,194,951 | 2,230,939 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 20,000 |
| 長期借入金 | 341,955 | 297,190 |
| 退職給付に係る負債 | 45,895 | 46,163 |
| 役員退職慰労引当金 | 100,978 | 92,445 |
| 繰延税金負債 | 24,707 | 16,017 |
| その他 | 6,770 | 6,170 |
| 固定負債合計 | 540,306 | 477,987 |
| 負債合計 | 2,735,258 | 2,708,927 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 507,768 | 509,019 |
| 資本剰余金 | 495,267 | 512,009 |
| 利益剰余金 | 2,572,100 | 2,629,700 |
| 自己株式 | △12,116 | △12,116 |
| 株主資本合計 | 3,563,019 | 3,638,613 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,184 | 8,484 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,184 | 8,484 |
| 非支配株主持分 | 233,140 | 246,853 |
| 純資産合計 | 3,802,344 | 3,893,950 |
| 負債純資産合計 | 6,537,602 | 6,602,877 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,047,850 | 2,287,704 |
| 売上原価 | 1,344,170 | 1,511,101 |
| 売上総利益 | 703,680 | 776,603 |
| 販売費及び一般管理費 | 462,760 | 584,414 |
| 営業利益 | 240,920 | 192,189 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 713 | 1,959 |
| 持分法による投資利益 | — | 447 |
| 補助金収入 | 12,575 | 4,145 |
| その他 | 0 | 751 |
| 営業外収益合計 | 13,288 | 7,303 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 798 | 1,115 |
| 持分法による投資損失 | 1,294 | — |
| 投資事業組合運用損 | 18,996 | 17,035 |
| その他 | 245 | 479 |
| 営業外費用合計 | 21,335 | 18,629 |
| 経常利益 | 232,872 | 180,862 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 415 | 39 |
| 特別利益合計 | 415 | 39 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 551 |
| 退職特別加算金 | ※1 22,464 | — |
| 事務所移転費用 | — | 3,939 |
| 特別損失合計 | 22,464 | 4,491 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 210,824 | 176,410 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 146,636 | 127,058 |
| 法人税等調整額 | △60,900 | △47,088 |
| 法人税等合計 | 85,736 | 79,970 |
| 四半期純利益 | 125,087 | 96,440 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 11,173 | 13,712 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 113,913 | 82,728 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 125,087 | 96,440 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,330 | 2,300 |
| その他の包括利益合計 | △2,330 | 2,300 |
| 四半期包括利益 | 122,757 | 98,740 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 111,583 | 85,028 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 11,173 | 13,712 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 退職特別加算金

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社の連結子会社が退職金制度を廃止したことによる清算金を退職特別加算金として特別損失に計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、ビジネス・テクノロジー・ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは、ビジネス・テクノロジー・ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 17,148千円 | 18,650千円 |
| のれんの償却額 | 13,392 " | 19,030 " |